



先輩から学ぶキャリア航海

未来への 羅針盤

vol. 31

株式会社ブラザーズ 代表取締役

北浦 明雄さん (97年済卒)

きたうら・あきお 本学卒業後にオーストラリアを訪れ、シドニー郊外の町グリーブで出会ったハンバーガーが、その後の人生の指針に。現在は複数店舗を展開し、グルメバーガー業界のリーディング老舗カンパニーを目指す。座右の銘は「最後までやり通す」。



**大学を卒業後、就職をせずに
起業の道を選んだのは何故ですか。**

3年生になり就職活動が始まってからも「自分は何をしたらいいんだろう」という迷いや、就職活動そのもののへの抵抗感、違和感がありました。大学まではなんとなくレールの上を歩いていたのに、突然たくさん選択肢が目の前に現れたような感覚です。それで、とりあえず行動だとホテル業や飲食業の入社試験を受けてはいたのですが、ほとんど一次面接から先に進めず、敗北続きでした。

実際には、それが「これからの人生を、自分は どう生きていくのか」とじっくり考える大事な機会になりました。自信のなさ、将来に対する漠然とした不安感、人付き合いへの苦手意識など、たくさん問題を抱えた自分を変えたいという新たな心境になったんです。

そこで、海外で働いて自活することに挑戦しようと思い、ワーキングホリデー制度を使ってオーストラリアへ行くことにしました。滞在期間中にアルバイトをしたハンバーガーショップでの仕事がすごく楽しく、「日本でこんな店をやりたい」と思ったのが、起業のきっかけです。人形町に1号店をオープンしたのはそれから2年後、25歳のときでした。

起業するとき、怖くなかったですか？

初めてオーストラリアに行ったときに比べれば、怖さはなかったですね。シドニー到着後は泊まる場所も働くところも決まっていなかった状況で、空港で足がガクガク震えていました。そこで恐怖心に向き合い乗り越えた経験があったので、起業・

開店するときは「成功すること間違いない」と思っていたほどです。

海外に行き一人で生活するという体験は、その後の人生や価値観を大きく変えてくれるのだと思います。学生の皆さんにはぜひ経験してもらいたいです。

**お仕事をやるうえで、
特に大切にしていることを教えてください。**

以前は店舗でハンバーガーの調理などを担当していましたが、現在は店舗運営や調理のルールづくり、財務といった、経営者としての仕事を中心です。また企業経営に関する書籍を読むなど、私自身が経営者として成長するための勉強も重視しています。

店舗での業務で、一番大切にしているのは掃除です。「凡事徹底」という言葉に倣って、基本的なことを毎日しっかりと続ける。誰でもできる「掃除」を、誰にもできないくらいまで徹底してやるのが、おいしいハンバーガーづくりへの想いやお客様に喜んでほしいという心を育てると考えています。私としてはハンバーガーがおいしいとほめていただいたときよりお店がきれいと言われたときの方が嬉しいくらいです。
これからの夢や、目標を教えてください。
一つは、会社の業績向上です。これは、企業経営者としての私の義務でもあります。

「学生へのメッセージ」

- ①「外」に出て、いろいろな人と関わろう。興味を持ったことには積極的にアプローチし、「未体験ゾーン」を開拓しよう。
- ②人生は自分自身のもの。自分が望む人生を手に入れるために、周囲の声に惑わされず、自分の選択に自信を持とう。

今回のナビゲーターは私たちです！

ブラザーズはハンバーガーを通じてお客様に喜びや感動を与えられるよう、日々努力している会社だと感じました。「誰もがができる事を、誰にもできないくらいまで徹底して行う心」と「人や社会に喜びを与えたいという心」を大学での4年間で身に付け、人と社会に貢献できる人材になりたいと思いました。

齋藤 駿斗(律1年)

とても温厚で、終始明るく取材に応じてくれた北浦さん。言葉遣いがいいので、一言一言が自信に満ちていました。4年後には、私も社会人の仲間入りです。インタビューを思い出しながら「頑張らなければ」と思いました。

古谷 一真(交1年)

もう一つは事業を通して得られたものを社会に還元し「社会に貢献する、世の中を良くしていく」ということです。その取り組みの一端が、地域での清掃活動です。掃除をして街をきれいにすることで犯罪率が下がった例もあり、掃除には、地域や社会を良くするという効果があります。
地域の掃除は、学生の皆さんにもできることです。自宅の周囲や、大学までの道中で「ゴミを拾うだけでも社会貢献になる」と思います。ぜひ始めてみてください！